

平成 30 年度事業報告

平成 30 年度の我が国の経済状況は、穏やかな景気回復が続いており、アベノミクスの三本の矢、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」により、企業の稼ぐ力が高まり、雇用・所得環境が改善し、所得の増加が消費や投資の拡大につながるという「経済の好循環」が着実に回りつつあります。

シルバー人材センター事業について、全国的に未だ会員数の減少傾向が続いていますが、シルバー派遣事業の実績が増加傾向にあります。

当センターは中期計画の目標数値に対し、「会員数：－48 名」、「就業率：＋2%」、「就業延人員：－2,808 人日」、「ボランティア参加人数：＋123 名」、「派遣事業延べ人員：－150 人」となっており、目標数値を上回った項目については今後も事業拡大を目指していきます。目標数値を下回った項目については、実績増を目指し、努力してまいります。

今年度より新規事業として、不燃ごみ分別業務（那覇・南風原クリーンセンター）が始まり、就業分野の拡大を行うことができました。

今後も、会員、役職員一丸となって、会員の拡大、就業分野の拡大、地域社会への貢献へ努めてまいります。

1 基本方針

- ① 高齢者の社会参加を促進するため、高齢者の入会促進と就業機会の確保、拡大を図りました。
- ② 安全・適正就業を推進し、魅力あるシルバー人材センターの実現に努めました。
- ③ 組織体制の強化及び財政基盤の強化に努めました。
- ④ 公益法人として、公益目的事業の推進に努めました。
- ⑤ ボランティア活動による地域社会への貢献に努めました。

2 数値報告

- ① 会員数 848 名（正会員 845 名 特別会員 3 名）
- ② 就業率 72.5%
- ③ 就業延人員 85,629 人日
- ④ ボランティア参加人数 延べ 523 名

3 事業報告

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、地域に密着した仕事を、家庭、民間事業所、官公庁等から引き受け、登録した高齢者に対して、請負又は委任の形式により提供しました。

- ・受注件数 2,204 件
- ・受注契約額 412,355 千円
- ・就業実人員 613 人

②独自事業

地域から仕事を受託するだけでなく、高齢者の就業機会を広げるため、高齢者が独自の創意と工夫による事業を行いました。

- ・パソコン教室（独自事業）の推進 開催数 42 回 受講者数 44 名

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

①有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために有料の職業紹介事業を行ったが実績がありませんでした。

②一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣事業による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために一般労働者派遣事業を行いました。

ア数値報告

- ・一般労働者派遣事業収益 487 千円 就業延人員 950 人日

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会。

就業上必要な知識、技能を付与することにより、就業に結びつけるため、次のとおり講習会を行いました。

講習会等参加人数 199 名

講習：熱中症対策講習会（127 名）

研修：接遇研修会Ⅱ（32 名）

研修：接遇研修会Ⅲ（40 名）

(4) 上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

シルバー事業の市全域への周知、浸透を図るとともに、高齢者自身のシルバー事業に対する意識啓発を行いました。

- ・普及活動月間の設定、啓発活動（10 月）
 1. 普及活動月間に係る「シルバーの日」の歩道清掃ボランティア（75 名）
- ・会報誌「あかぎ」の会員、関係機関への配布によるシルバー事業の普及啓発
 1. 会報誌「あかぎ」の発行（2 回）
- ・普及活動事業における会員と市民、一般高齢者との交流活動

1. 交流ピクニック参加人数 121名
2. 交流グラウンドゴルフ大会参加人数 64名

② 安全・適正就業の推進

高齢者が自らの健康保持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発を行いました。

- ・安全・適正就業推進員による指導、点検、現場巡回パトロール
 1. 実施状況 (随時)
- ・安全・適正就業推進委員会の組織的活動による事故防止対策の強化
 1. 安全・適正就業推進委員会 2回
- ・安全・適正就業推進大会の開催
 1. 参加人数 127名
- ・「安全朝礼の日」の実施(毎月第1月曜日)
 1. 開催数 11回
- ・長期就業の是正、公平な就業機会の提供、適正就業の円滑な推進

③ 調査研究

事業実績を集計するほか、時代の要請に対応した事業展開を図るため、次のとおり調査研究を行いました。

- ・毎月の事業実績や事業推進検討委員会資料を基に、理事会、事務局会議等にて就業の研究を行いました。
- ・会員に対し、シルバー事業満足度調査を行いました。

④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁を訪問し、高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、高齢者の就業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案などを行いました。

- ・役員による事業所開拓訪問
- ・就業開拓員による、一般家庭、事業所開拓訪問(随時)
- ・会員のロコミ運動強化と会員紹介就業開拓の推進(随時)
- ・地域社会に混在する多様な就業機会の開拓(随時)
- ・指定管理者に係る情報の収集及び事業の推進(随時)
- ・センターホームページ、市及びセンター広報誌、新聞等の活用でセンターのPR等による就業開拓(随時)

⑤ 企画提案方式による事業

地域社会における生活援助のニーズに対応する為、那覇市と連携した在宅の高齢者一人暮らし世帯への生活支援事業の展開により、地域力を活かした支えあいのある環境づくりを目指す「いきいき地域サポート事業」を行った。

・高齢者一人暮らし世帯(介護保険適用外)の軽易な日常生活の援助事業を実施し、高齢者の健康維持を推進した。

報告受注件数

1. 福祉サービス 1件

2. 家事援助サービス 262 件

・子育て、介護、教育に関する行政施策について、関係機関との連携による事業の積極的な推進

報告受注件数

1. 育児支援サービス 2 件

⑥ 相談、情報の提供

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を実施し、高齢者からの相談に対応するほか、雇用、就業等に係る相談、情報の提供を行いました。

・入会説明会の実施

実績報告 開催数：12 回 受講者数：179 名

・出前入会説明会の実施

実績報告 開催数：0 回 受講者数：0 名

・就業相談日の実施

実績報告 開催数：12 回 受講者数：13 名

⑦ 社会活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に「できることを」「できる範囲で」行う社会参加活動を一般市民と連携して実施し、社会参加活動の機会の提供を次のとおり行いました。

・10月のシルバーの日のボランティア活動

実績報告 参加人数：75 名

・協働のまちづくり等行政機関と連携したボランティア活動

実績報告 参加人数 448 名

(実績報告内訳)

パトロール 9 名、ひやみかちなはウォーク給水 9 名、
公園清掃 266 名、大綱挽き綱管理 43 名、CGG 82 名、
銘苅小学校歩道清掃ボランティア 39 名、